

## 平成29年9月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成29年10月2日(月) 14時00分～16時30分
2. 開催場所 日野町役場201会議室
3. 出席委員 今宿綾子教育長、西村吉弘教育長職務代理者、  
山田めぐみ委員、高橋政宏委員、谷 信代委員
4. 出席事務局員  
 教育次長 : 高橋 正一  
 学校教育課 : 参事 野瀬 薫 参事 正木 博之  
 生涯学習課 : 課長 日永 伊久男  
 図書館 : 館長 高浪 郁子  
 子ども支援課 : 課長 宇田 達夫

<p>今宿教育長</p>	<p>ただ今から、日野町教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>今日は、あいにくの雨となりまして、足元の悪い中ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>先日の教育委員研修では、遠方をお疲れ様でした。先進的な取り組みを見たり聞いたりさせていただきましたので、今後の日野町の教育に活かしていきたいと思えます。</p> <p>それでは、先ず日程2の新教育委員就任についてでございます。</p> <p>9月定例町議会で同意を得て、先ほど町長から教育委員の任命を受けられ、谷 信代様に新たに教育委員にご就任いただきました。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>それでは谷 信代様からご挨拶をいただきたいと思えます。</p> <p>(谷委員ごあいさつ)</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>私から順に自己紹介をさせていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>(自己紹介)</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>10月に入り、早いもので今年度も後半戦に入っていくわけですが、この9月につきましては、委員の皆さま方には多くの行事にご参加いただき、本当にありがとうございました。</p> <p>土曜日には「日本文化と西欧文化を楽しむ1日」と題しまして、分林さんという日野町にご縁のある方の能の舞台と、鈴木舞さんのバイオリンのコンサートがございました。鈴木さんは2年前のオーケストラ・ムジカ・チェルステ演奏会の時のソロのバイオリニストということで、日野町にご縁のある方で、能とバイオリンの充実した舞台となりました。</p> <p>ホール750席が満席で、非常に熱心に観劇いただいたと、出演された方も大変喜んでおられました。</p>

	<p>昨日は、日野駅舎改修の竣工式という記念式典をさせていただいたのですが、晴天に恵まれ大変多くの方で賑わいました。この賑わいが続いていくといいなという声も聞かれ、各関係の課とも工夫をしていきながら、日野町にこの賑わいを取り戻せるようにしていきたいと話しているところでございます。</p> <p>9月議会につきましては、詳しくは次長から報告させていただきますが、一般質問では、中学校のグラウンドの改修、松尾公園の今後の活用などについてご質問がございました。</p> <p>また、昨年度の積雪時の通学の安全、臨時休業の扱いなどについて、今から十分備えをしておくようにというご意見や、必佐小学校の校舎周りの安全な通学路の確保や、駐車場をもう少し充実拡幅できないかというようなご意見をいただいたところでございます。教育委員会の方で協議をし、また関係機関と連絡調整をしながら取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>学力状況調査につきましてもしっかりと検証をして、学校独自で取り組むことと、教育行政が取り組んでいくことを整理していきながら、今後考えていきたいと思っております。</p> <p>また、9月に教科用図書の最終の審議会を終えまして、無事採択をしていただきました。情報開示についてのご意見については、十分にブロックが協議をし、次年度の方向性を出していきたいと思っております。</p> <p>9月はまさに実りの秋でございました。いろいろな事業等があり充実した月を過ごさせていただいたと思っております。以上でございます。</p> <p>次に日程4の、前回の議事録の報告についてですが、別紙のとおりであり、委員各位においてご覧いただき、異なるところがあれば事務局までご連絡をお願いします。</p> <p>次に日程5の、9月定例町議会の概要について、教育次長から報告させていただきます。</p>
高橋次長	(行政報告)
今宿教育長	<p>次長から9月議会の質疑・一般質問また各種委員会での質問と答弁について報告をさせていただきましたが、ただいまの行政報告について何かご質問がございましたらお出しいただきたいと思っております。</p>
高橋委員	<p>プールと学校の敷地の間に道路がありますが、あそこを学校の敷地にしてもらったら、安全管理にもつながると思います。過去に何回か関係の方々との協議をさせてもらったような記憶があるのですが、当時の結論として、あそこの道はどうしても公道とおっしゃったか、とにかく日野町の敷地にはならないと、理屈的にも。それで致し方ないので、水泳をするときには、当該の指導の先生はもちろんのこと、我々も出て安全確保をしたり、そう</p>

高橋次長	<p>いうこともやっていたのですが、そのあたりは改善されてきているのか。やはりそこは昔のとおりそのままになっているのか、わかる範囲で教えていただけたらありがたいと思います。</p> <p>おっしゃっていただいているのは、プールと校舎の間の道を、グラウンドに取り込めたらいいということですか。</p> <p>その問題意識は今お聞きするまで持っていませんでしたので、そういう議論もあったかどうか把握してないのですが、校舎とグラウンドの間にも、いわゆる昔の公道がありまして、一般の車も通れるような道路が残っていたということはありませんでしたが、校舎の改修でその道はなくなりました。</p> <p>プールとグラウンドの間の道については、私は今まで課題として聞いたことがなかった。おっしゃるように道を渡っていかなければならないということで、交通安全の問題はあるかとは思いますが。</p>
高橋委員	<p>特に、南側から車が来ますね。プールの北側で左へ曲がる。ちょうどその辺がプールの出入りのところで、その時期はかなり神経を尖らせていました。あそこを学校の敷地にしてもらったら、いろいろな問題も解消すると言っていたのですが、それは無理なんだということで、終わってしまった認識があるのです。</p>
高橋次長	<p>学校の敷地の中をどう有効活用するかというところから私の問題意識は始まったので、その道については不勉強で申し訳ないですけど、今のところ承知しておりません。</p>
高橋委員	<p>時期的にはある一定の時間、水泳の時期ですけど、やはり何かが起こってからでは遅いので、また、ご検討いただけたらありがたいと思います。</p>
今宿教育長	<p>安全面については十分に気をつけてまいりたいと思います。</p> <p>ほかにご質問はございませんか。</p> <p>無いようですので、次に「全国学力学習状況調査の結果について」を学校教育課参事から報告します。</p>
野瀬参事	<p>(調査報告)</p>
今宿教育長	<p>傾向等について報告いたしました。ご質問等ございましたらお出しいただきたいと思います。</p>
高橋委員	<p>以前から全国学力学習状況調査がされているわけですが、今回は大阪大学の志水宏吉さんの考え方に基づいて、こういう分け方をされておるのだらうと思います。今、県の方では青木教育長の答弁等を聞いていまして、4年連続、どうしても平均点ではなくて平均正答率、その辺がなかなか、</p>

多くの一般の方には理解しにくい統計処理をしていますし、もうこれ以上打つ手がないというような印象の答弁もあつたりして、これはどうかと思つたりしております。

どうしても、マスコミなどが寄つてたかつて順番をつけると、平均正答率のちょっとした差が全国順位でいくとあのようになってくるわけです。しかしながら、それはそれで真摯に見ていかないといけないと思つております。以前からお願いをしておりますことですが、子どもの意識がどのように変わっているのか。意識もそうですし、朝食の摂取率のような子どもの生活に係る内容もです。

ある商業新聞が学力テストのことについて論じていますが、大阪市が非常に低迷していると言いながら、全国順位でしたら真ん中くらいです。それについて課題を明確にしていまして、1つは、各お家の所得と言いましようか、そういうものとの違いを明確にして、そこに重点的に教育行政が力を入れる取り組みをしてきている、あわせて、大阪では自分が初めにどうすればこういうことができるかとか、課題を板書して、児童生徒に目的意識を持たせて、終わりに課題と結論を踏まえて自分の考えの変化などを書かせる。

「振り返り」をもっと徹底的にやらないといけないという論調、評論的なことが載っているわけです。そういうことも含めて、先ほどお話がありました、1月5日に原先生のお話を伺うということですが、子どものそれぞれの自尊感情とか自己肯定感とか、そういうことにつながる分類ができる項目がおなじみのように毎年あると思うのです。急にこういう政策が一番いいというのはなかなか難しいと思いますが、全体的な子どもの生活の底上げをしないとだめだと思うのです。

教育委員研修で和歌山県へ行かせてもらいましたが、学社連携とか学校連携とかコミュニティスクールとか、いろいろ言っていますけれども、やはり一番の大きな柱の1つは、子どもの学力をいかにして上げるかです。

ぜひとも、先生はもちろん、PTAとか、日野町には大切にしたい保育園から高校までの組織がありますので、そういうところと連携を図りながら、子どもの意識がどうなのか。そこがよく言われている子どもの学ぼうとする力とか、意欲とか、そういうところと関係してくるのではないかと思いますし、そういうことを真摯に客観的に見る、そういうようなフォーラムにぜひともしていただけるとありがたいと思います。

日野町には今、学社連携に相当する「ふるさと絆事業」もありますし、そういった活動を活発にしていくことによって、子どもの自尊感情なり、学校へ来てよかったとか、そういうことが日々の授業に対する意欲の向上に期することが多いかと思うのです。ぜひともそういう意味で教育フォーラムを実施、一緒にこういったフォーラムをさせてもらえるとありがたいと、私は個人的に感じております。長々とありがとうございました。

野瀬参事

多方面からご指導いただきまして、ありがとうございます。2点について

西村委員	<p>て特に回答をさせていただきたいと思います。</p> <p>先ほど高橋委員がおっしゃいましたように、家庭との連携というのは非常に大切なところです。教育長が、学校でできること、そして教育委員会として環境をどのように整えるか、そして家庭にお願いして一緒に連携してやっていくべきこととおっしゃいましたが、家庭と連携し、生涯学習課と連携しつつ、家庭教育の気運を高めていくことが大事だと考えています。</p> <p>先日も課長補佐の林がPTA連合会の会議に出席し、日野町の実態についてパワーポイントを用いてご説明させていただき、PTAの皆さんのご理解を得ているところです。</p> <p>また6日には、日野町青少年育成町民会議の総会で、私が「ふるさと絆事業」の説明をさせていただく中で、日野町の子どもたちの実態についても触れさせていただき、関係機関のご協力を賜るようにお話を進めていきたいと考えております。</p> <p>2点目に、1月5日に原先生のお話をお伺いすることは非常に大事なことです。そこを聞きっぱなしにしないように、ひのっ子育て事業とどのように連携させていくかということを考えていきたいと思っています。夏の全体会でも、各部会が発表者となり自分たちが会を運営することによって学びを深めていったというところがありますので、何らかの形でひのっ子育て事業と連携を図れないかということで、これから考えていきたいと思っています。どうかご理解をよろしくお願いします。</p> <p>全国学力学習状況調査の結果を詳しくご説明いただきまして、ありがとうございました。私は、抽象的なことになろうと思いますが、1つは、年を重ねて毎年4月にこのテストを受けさせるということになってまいりますと、もちろん、本来そのテストによって授業の方向やいろいろなところを工夫して、前向きに取り組んでいくという現場の改善のために調査をされるということは重々わかるわけですが、しかし、どうしても点数競争というものが激しくなって、そのことによって教育が歪められているというか、そういう実態もないことはないと思うわけです。</p> <p>私も個人的な経験から言えば、いろいろな資格試験を受ける場合などは、まず過去問を十分読んで出題傾向をつかむとか、模擬テストを繰り返すことによって、テストを通じて自分の力を表現する場合の技術が向上する部分もあります。しかし、そういう技術的なところに傾斜してしまうと、本来の教育のあり方からすると少し外れた形になってしまうのではないかなという懸念を持つわけです。一般的にどうであるということについて確信はないのですが、そういうこともあるのではないかという懸念が1つございます。</p> <p>2つ目は、平均正答率を上げるためには底辺にある層、二極化というお話もございましたが、低いところを上げることが全体としては向上の道だと思うのですが、底辺にあるそもそもの原因が何かということをお考えますと、先ほどお話がございましたように、家庭における勉強時間が確</p>
------	---

保されない環境があるのではないかと思います。これは、個々の家庭が思っておられることがどうかということではなくて、もう少し広く考えると、先ほどの高橋委員さんのお話がありましたように、家庭の経済格差というものが教育の質の格差につながって、それが結果としての学力格差につながっているということは、否定できない事実ではないかなと私は思うわけです。

今年になってからの定例会で、私、給食費の滞納額と滞納率のことについて少し質問をさせていただいたことがあります。例えばそういうような、背景に経済的困難があるとみられる事象というのが、教育委員会の事務分掌上は例えば給食費の滞納とか、あるいは子ども支援課だったら保育料の滞納とか、そういうところに表れると思います。こうした事象の解決に関しては、単に督促して回収するという一面からの働きかけではなくて、そういった困難に陥っていることについての総合的な相談を受ける体制をきちんと整えて、生活を取り戻すというか、本当に子どもたちが落ち着いて勉強できる、家庭でもちゃんと勉強ができるという環境を取り戻そうという面での生活再建というところに向けた総合的な支援をしていかなければいけないと思います。

これは別の機会があれば、私はぜひ言いたいなと思っていることなので、今日ここではあまり時間を取って申し上げませんが、例えば滋賀県では野洲市が10年以上前から取り組んで成果を挙げて来られた経済困難に陥った方に対する総合的な相談体制の構築と、生活再建の支援のための具体的な体制について、日野町としても研究する必要があるのではないかと思います。そして、日野町においても、経済的な面で困難に直面している方に対しては、トータル的な形でまちが受け止めて、親身になった相談を受けて、そしてその方が勇気づけられて前向きに生活ができていくような、そういった支援をしていくという方向での取り組みがやはり必要ではないかなと思います。

その辺は教育委員会だけで解決できる問題ではないとは思いますが、町全体の組織を挙げての取り組みということになろうと思いますけれども、底上げということからいきますと、やはり経済格差を克服していくということが大切ではないか。相対的貧困率というのが、今年は少し下がったということでございますけれども、全国民から見れば15.6%、子どもの貧困が13.9%とか言われていますので、そういった数字から見ましてかなりの率だと思います。日野町も全国の縮図だと思いますので、そうした取り組みは学力というものを向上させていく基礎になる部分として取り組んでいく必要があると思います。

野瀬参事

ありがとうございます。今のご意見2点についてお返事をさせていただきたいと思います。

1つ、テストの持つ良い面と悪い面、そして弊害のことについてご指摘いただいたのですが、私も確かにそのとおりだと思います。国語・算

<p>今宿教育長</p>	<p>数（数学）について今回は学力を調べているわけですがけれども、例えば私どもが進めさせていただいております「ふるさと絆事業」このことによって総合的な学習等の充実が図られる、国語・算数以外の理科・社会等の生活科などの教科が充実することによりまして、子どもたちは地域の方と触れ合って、思考力・表現力・判断力等が高まっていく。このことが強いては問題B、応用力などにつながっていくのではないかと。だから、過去問の学習ではなく、本来の質の高い思考力・判断力・表現力を育てるような授業をしていくことによって、問題Bを高めていきたいと考えているところです。</p> <p>2点目の貧困の問題につきましては、以前から何回かお話しさせていただいているかと思いますが、生涯学習課と少年センター、そしてファミリーサポートセンター等が連携いたしまして、中学3年生を対象といたしました貧困の連鎖を断ち切る取り組みをしていただいております。2学期からは中学校3年生だけが対象であったものを、1年生・2年生に広げまして、約50名を対象に案内を配らせていただきました。実際には2人追加でお申し込みされただけではあるのですが、1年から3年生までの生活困窮者の方を対象とした授業を進めていくという方向に歩み出したところです。</p> <p>また来年度につきましては、その連携する機関がどのようにしていくかということは今から考えて取り組んでいきたいと思いますが、今そういう形で進み始めているということをお知りおきいただければ幸いです。以上です。</p> <p>ありがとうございます。経年の変化を見ますと、全体的な差は縮まってきています。しかしその1問の差というのが大変大きく、そこにたくさんの方の都道府県が入っていますので、順位を出してしまうと、滋賀県は連続して下位にあるというのは現実なんですけれども、方向としては、成果も現れているという検証もしております。</p> <p>ただ、その1問の差に食らいつくというか、無答をしないで最後まで根気よく問題に取り組む姿勢には課題が残ります。やはり学習なり調査を受けるときのその子の取り組み、授業に向かう、学習に向かうという姿勢が一番のベースになりますので、町としても落ち着いて取り組んでいる場合と、そうでない場合に差が現れていると思っております。授業改善が大事だということはみんな思っていて、声にしているわけですが、問題意識を持って取り組み、振り返りまとめをきちんとすることの大切さも意識としてはみんな持っているのですが、その授業の中でストンと、これがいい授業だなということが、果たして担任一人ひとりがどれだけ身を持って、意識して感じられているかということも今大きな課題だと思います。目の前の子どもに指導するのは、やはり最前線で関わっているのは担任ですのでその先生方に対して、管理職はどのような役割があるのか、また教育委員会の教育行政はどのようなことができるのかという役割をしっかりと持ちながら、</p>
--------------	--

<p>野瀬参事 宇田課長 日永課長 高浪館長</p> <p>今宿教育長</p> <p>西村委員</p>	<p>担任、管理職、教育行政の役割をしっかりと果たしていきたいと考えております。</p> <p>学ぶ力向上12プランというのは、校長先生方からいろいろなご意見をいただいて、教員ががんばっているこの流れをさらに進めるには何ができるだろう、実効性のある取り組みは何があるだろうという、議論を経て書き上げられています。すべて大事であり、そのとおりにんですが、一度に取り組むには無理が生じますので、今後重点を整理していきながら、各学校の実態をしっかりと把握検証しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>また、生活実態調査で、日野町の子どもたちは地域のいろいろな事業に積極的に参加するという値が高いというのは、これまでの地域学習なり地域の方のかかわりが大きいと思っております。逆に大きな課題だと思うのは、子どもたちの生活の中の学習時間がものすごく少ない、あわせて読書の時間がすごく少ないのということです。</p> <p>余暇の過ごし方を良い方向に向かうようにと、何年か前に家庭教育リフレットをお配りさせてもらって、目標を掲げましたが、もう一度、学校や、家庭に実態をお伝えしながら、継続して取り組んでいくということを考えているところです。具体的には、ファミリーで読書をするとか、あいさつをするとか、そういった目に見える、家庭でも、子どもでも、自分たちのがんばりが目に見えるようなところから何かしていこうかと考えております。</p> <p>それと、貧困対策、学力の底上げ、子どもたちの居場所づくりについては、行政としても小学校の子どもたちを対象にした夏休み休暇中のチャレンジ教室とか放課後学習を継続実施したいと思いますし、中学生の子どもたちについては、貧困対策の学習と、それから学力補充、通級教室のような意味合いの教室というものもあわせてやっていけるといいなと考えております。</p> <p>それぞれのできることを考えながら、決して「やらされ感」ではなく、今までの取り組みを整理していきながら、成果があったところはさらに継続していきたいと考えているところでございます。また、ご意見等ございましたらぜひとも聞かせていただきたいと思っております。引き続き頑張りたいと思っております。</p> <p>続きまして、日程6の経過報告について、各担当課から報告します。</p> <p>(経過報告)</p> <p>経過報告につきまして、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>過日、和歌山方面へ教育委員の研修に寄せていただきまして、事務局に</p>
---	---

は大変丁寧な企画をしていただきました。本当に2日とも内容のある研修でございまして、感銘を受けました。私どものこれからの教育委員としての活動に活かしていきたいと思っております。

また、中学校・小学校の体育祭・運動会に寄せていただきまして、特に日野小学校はプログラム最後の組体操は、非常に安全面を考えて、きちんとした対応をしていただいたと思いますし、また、日野幼稚園は非常にきめ細かな準備をしていただいて、大変感銘を受けた次第です。

あと2つ申し上げたい。1つは、ここには関係なかったとは言うものの、前回の定例会以後今日まで、北朝鮮のミサイル発射というのが2回行われています。8月29日と9月15日。特に9月15日はJアラートが12道県に鳴り渡ったということですが、実際は高度500キロ以上の日本の領空外を飛んだということになって、本当にそれに該当するのかというような論議もあるように聞いております。

私はこのことに関して2つ申し上げたいことがありますが、1つは、こうしたことにつきまして前回、一度、子どもさんを通じて保護者に通知が出てございますので、休校等についての通知はできていると思うのですけれども、いずれにしましても、こうした事態が起こった時には、冷静にまた不安をかきたてることのないように、町長部局とも十分な連絡を取っていただいて対応をいただきたい、これが第1点でございます。

2番目は、そもそも教育現場では普段教えていることと逆のことが起きているわけですね。だいたい「ケンカをしてはいけません」とか、「いさかひがあった時には話し合いをしましょう」と教えていることと全然違うことが現実の世界で起きているということについては、それぞれの発達段階において、それなりの受け止め方をされていると思うのですけれども、指導していただく側の立場に立てば、子どもたちの発達段階に応じた適切な指導というものが需要ではないかと思うのです。そこはひとつ、私はその辺のところ専門である先生方によりしくお願いしたいと思うところでございます。

もう1つは、生涯学習課からご報告を頂戴しました9月7日の日野曳山保存修理専門審査会でございます。著名な先生方を委員にお迎えしての、実質的にはこれが第1回の顔合わせの会議で、内容の非常に高度なと言いますか、実質的には日野曳山祭が無形民俗文化財の県指定から国指定に向けての一段展望を明らかにしたような、画期的な会議でなかったかと、私自身は受け止めております。

特に県の教育委員会の文化財保護課の矢田さんのご熱心な取り組み・指導に対しまして、現在それが進行中であるわけですが、これはまさに日野のまちとしてもぜひこれから力を入れていただきたいと思うところです。既に財政的な支援等も町でしていただいていると聞いておりますけれども、さらなるご支援をお願いしたいと思います。

もう1つは、日野のまちにおける、まちのベースになる部分の文化財の今後の保護・活用に関する部分の長期的な視点での位置づけを、そろそろ

	<p>これからお考えいただいて、例えば日野曳山祭りを仮に国指定という方向を目指すにしましても、そういった基本的な構想の中の道筋の中で位置づけていく。現に日野祭だけでなしに国指定の中山の芋くらべ祭も祭りの維持自体が困難に陥っておられる部分があります。無形民俗文化財だけに限らず、すべての日野の歴史・文化に関して、歴史文化基本構想の策定に向けた方向づけが必要な時期に差しかかっていると思います。基本構想については、すぐに今日明日にとはいかない面もあるとは思いますが、構想の策定に向けた検討を始めていただきたいと思う次第でございます。</p> <p>これが将来のまちづくりへの展望とも絡んで、非常に重要な事案だと思っておりますので、よろしくご検討を賜りたいと思っております。以上です。</p>
野瀬参事	<p>ただいまJアラートに関しまして、対応についてご質問をいただきました。原則といたしまして、4月25日に教育委員会名で発出しております「午前7時の時点でJアラートで屋内避難の呼びかけがある場合には臨時休業」という文は、生きております。ただし、次長がお尋ねいただきましたところ、あれ以降、Jアラートの文言が変わっているというか、状況が変わりましたので、県立学校対象の文書が10月中旬に見直されるという情報を得ていただいております。それに伴いまして、西村委員がおっしゃいましたように、子どもたちに不安を与えないように、かつ冷静に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>また、9月に入りまして文科省から学校の危機管理マニュアル等安全管理計画を見直ささいという通知が参りました。その点につきましても、各校長に指示をするとともに、各学校がバラバラではいけないので、町教育委員会が中心となって校長会等に諮りつつ、ある程度のラインを示していきたいと考えております。</p> <p>1つは登校前、そして授業中にはどうするのか、放課後だったらどうするのか、またミサイルが通過した時にはどうするのか、万が一落下した時にはどうするのか、そして領域外に着水したという情報が入った時にはどうするのかという、いくつかの場合を考えまして、自宅待機にするのか、情報を提供して再度登校させるのか、帰りの時間を繰り上げるとかいうようなところをまとめて指示をしていきたいと考えております。現在、ひな型の作成途中ですので、新たな文書をまた参考にしつつ、各学校で統一を図っていきたいと考えております。</p>
日永課長	<p>西村委員さんからお話がありました日野曳山審査会に関してでございます。昨年くらいから曳山に関する地域の方々の熱意もかなり盛り上がってきておりまして、町としましても、今現在、日野曳山祭というのは県の無形民俗文化財でございますが、それを何とか国の方に引き上げて、今後、日野町として未来永く伝えていこうという心構えで、行政もそれに向けて進めておるところでございます。</p> <p>その一段階前という状況でございますが、まず、今まで県で曳山の修理</p>

	<p>に関しては補助金が制度的になかったのですが、それが今回新たな制度ができて、補助金が使えるようになりました。そのための条件としまして、このような修理をするうえでの専門家からなる委員会をつくって、それぞれの分野の方々に現状を把握していただいて、一番ふさわしい修理の方法を考えていただく。それに基づいて県から補助金をいただいて修理していこうということでございますので、その1回目の会議でございました。</p> <p>色々その中でお話がありましたが、地域の方々も同席をしていただいて、専門家の方々のお話を聞いてもらい、いろいろ学んでいただいたこともあると思いますので、今後も地域の方々の熱意を高めつつ、行政でもいろいろな整備を進めて、すぐとはなかなかいかないと思いますが、将来的には日野曳山祭が国の無形民俗文化財に指定されるように何とか進めていきたいと考えております。</p> <p>それから、2点目の全般的な文化財の保存・活用についての基本構想のようなものを、日野町でも考えていかなければならないのではないかとご指摘をいただきました。確かに皆さん方もご存じだと思いますが、日野町は非常に優れた文化財、質・量ともに素晴らしい文化財がございます。それを残していくというのは非常に大変なことです。金銭的な課題もあります。また、今人口が減って、特に子どもさんなど若い方が少なくなっていく中で、特に無形民俗文化財といわれる分野は大変難しいこともあります。逆に有形文化財は一度失われてしまえば元に戻すことは絶対できないということもあります。すべての文化財に対しまして日野町として今後どのようにそれらを保存し、保存しておくだけではなく、それらを活用して地域の方々の日野町に対する愛着心を高め、ひいては日野町のまちづくりの基礎となっていくのが本来だと思います。</p> <p>文化財の担当はふるさと館で歴史文化財担当として、生涯学習課の1セクションが行っています。人員的にもまだ十分ではございませんので、すぐにその構想を策定して、その構想に基づいて文化財の保存・活用を進めていくというのはなかなか難しいかもわかりませんが、将来そういう構想はぜひ必要だとは認識しておりますので、これにつきましても、少しずつになるかもわかりませんが、前向きに検討して進めていきたいと思っております。</p>
西村委員	どうもありがとうございました。
山田委員	<p>敬老の日があるこの季節、敬老会を各地区でされると思いますけど、去年のふれあいデーだったと思うのですが、小学生が日野のまちづくりのことについての発表だったと思うのですが、これからは子どもとお年寄りとの交流をしていくのが大事だという発表をされていたのです。</p> <p>敬老会とかそういう催しの時に、私たちが行って交流をしてはどうかという発表をされたと思います。私はそれはすごくいいなと思って、ふるさとときずな事業も始まっていくことで、敬老会の時に小学生・中学生</p>

	<p>と交流するのもおもしろいのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
日永課長	<p>今ご指摘いただきましたように、小さい子どもさんが減り、逆にご高齢の方が増えていくという時代がこれから進んでいくわけで、子どもさんとお年寄りの交流は大事になってくると思います。敬老会は、その1つの場になるかと思いますが、それぞれ地域でいろいろこれまでの伝統と言いますか、やり方もありますので、一概に町からこういうふうにしてくださいとは言えないと思うのですけれども、それぞれ地区で、敬老会だけではなく、必佐公民館でしたら長寿学級の中で逆にこぼと園へ訪問されて、園児たちと交流されています。主事会とか館長会でもこういうお話が教育委員会であったということを伝えさせていただいて、極力、そういう方向性で進めていただけるようお願いしたいと思います。</p>
今宿教育長	<p>他にご質問はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、日程7の議事に入ります。</p> <p>「議第1号 日野町教育委員会 教育長職務代理者の指名について」を議題とします。</p> <p>前の教育長職務代理者の石岡孝浩委員が退任されたことに伴い、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第2項の規定に基づき、西村吉弘委員を教育長職務代理者に指名いたしたいと考えます。</p> <p>ご異議ございませんか。</p> <p>異議なし</p>
今宿教育長	<p>それでは、異議なしと認め、議題1号日野町教育委員会 教育長職務代理者の指名については、西村吉弘委員を職務代理者に指名することに決定しました。よろしくお願いたします。</p>
今宿教育長	<p>次に、「報第1号 平成29年度日野町一般会計補正予算（第2号）（教育費）について」報告します。事務局から報告・説明を願います。</p>
日永課長	<p>（報告・説明）</p>
今宿教育長	<p>ただいまの報告・説明について、ご質問ご意見はございますか。</p> <p>無いようですので、次に「議第2号 日野町立幼稚園預かり保育モデル事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について」を議題とします。事務局から提案説明を願います。</p>
宇田課長	<p>（提案説明）</p>
今宿教育長	<p>ただいまの提案説明について、ご質問ご意見はございますか。</p>

西村委員	<p>ご提案いただきました内容については、特に異議ございません。ただ、過日の新聞をたまたま読んでおりましたら、幼稚園において2歳児を預かる方向が出されているようでございまして、現実的な問題になってまいりますと大変だなという思いがいたしております。これは新聞発表でございまして、ただ、今日的な状況からいくとその辺が実施される方向になっているのではないかなと思いますし、またいろいろとお取り組みいただく部分ができてくるのかなという思いでございます。</p>
宇田課長	<p>その点につきまして、日野町では今、幼稚園において預かり保育事業を実施したりとか、いろいろやっておりますので、どのような形が日野町にとっていいのかを見極めながら、今後また検討していかなければいけない問題だなと考えております。</p>
今宿教育長	<p>幼稚園・保育園・子ども園を有している日野町にとって、どのようにそれぞれの要望に応じていくかということですね。</p> <p>他にご質問やご意見はありませんか。</p> <p>それでは、異議がないと認め、「議第2号 日野町立幼稚園預かり保育モデル事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について」は提案どおり承認することといたします。</p> <p>次に、「議第3号 日野町学校給食運営協議会委員の委嘱について」を議題とします。事務局から提案説明を願います。</p>
高橋次長	<p>(提案説明)</p>
今宿教育長	<p>ただいまの提案説明について、ご質問ご意見はございますか。</p>
今宿教育長	<p>ご質問等が無いようですので、それでは、異議がないと認め、「議第3号 日野町学校給食運営協議会委員の委嘱について」は提案どおり承認することといたします。</p>
高橋委員	<p>次長から説明がありましたが、日野町の給食は、月～金までどの学校もご飯をめぎすのですね。いつの時でしたか、議会で、逆戻りするのかどうか私もよくわからないのですが、お弁当を持って来る日とかいう話があったとか聞いたりしているのですが、そういう方向性は全くなくて、給食の良さは温かいご飯を直にいただけという観点から、そういう形の良さを取り入れた給食をめぎすということによろしいのですか。</p>
高橋次長	<p>お弁当の議論は、日野中学校が弁当持参で、中学校給食を始めるという時に、お弁当がいいとか、給食がいいとか、そういう議論がだいぶありました。それで日野中学校は完全給食ということで、ご飯を全部出せる給</p>

<p>西村委員</p>	<p>食を始めさせてもらったということで、今、3年経過しました。小学校については、以前から、週に3回、白いご飯を持ってきてもらうというスタイルを続けています。米飯の施設が整った環境に段々近づいてきましたので、あと南比都佐と西大路はその施設が完璧にはないわけですがけれども、食数があまり多くないので何らか違う方法で対応して、小学校5校一斉に全食ご飯が提供できる給食に、早い時期にしていきたいと考えております。</p> <p>弁当の日というのは、ある一日を弁当の日にしようということで、全部子どもにつくらせて、ちゃんと何もかも全部子どもたちがお弁当をつくって持って来ましょうという日を設けようということを提唱されて、それを普及に努めておられる先生がおられるわけですね。</p> <p>それについて町会議員さんが議会で一度質問されて、教育長がお答えになられているのですがけれども、弁当の日を設けるというのは、その趣旨が、毎日ある給食をということではなくて、ある一日、そのことによって家庭での食事をつくる大変さを知り、いろいろなことを学ぼうというところが趣旨だと私は思いまして、それはその意義ある1つの教育だという位置づけになっていると思います。それは私も新聞の切り抜きを確か持っていると思いますけれども。</p> <p>今回のこれは日常のお昼のことですので、弁当の日を設けようというのは、それはそれで1つの教育目標としての問題なのではないかなと思います。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>中学校は、ご飯も提供していますが、小学校については持参しているという形ですので、今回小学校についてもご飯も一緒に提供するようにしたらどうかなと協議していただこうということなんです。できれば30年度に実施できるとよいなという思いは持っておりますが、給食運営協議会において協議していきますので、また報告させていただきます。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>その時に、今ある小学校を含めての施設、設備で対応できるのですか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>桜谷小学校・必佐小学校は改修済みで、日野小学校は、今年改築が終われば、お米を炊いて提供するという設備は整います。南比都佐小学校と西大路小学校については、ご飯を炊ける専用の設備がないので、他の施設でご飯を炊くということになります。ご飯を炊くのは現在も炊き込みご飯を炊いたりしていますので、食数が少ないので可能かなと思っています。それとご飯を炊いて出すということなので、調理員さんの仕事が増えるので、そこで調理員さんの補充をしなければならぬという問題が出てくると、ご飯を出す器が要るので、それを洗って保管していく場所が要るので、そこも対応が必要かなと思いますけど、総合的に見てクリアできるか</p>

	<p>など考えております。</p>
高橋委員	<p>ご飯は日野のお米ですか。</p>
高橋次長	<p>現在、日野中学校では毎日出していますし、小学校でも出していますが、日野町産のお米を提供しています。今度完全給食にしましたらもちろん日野のお米を提供する予定です。</p>
今宿教育長	<p>よろしいでしょうか。 他にご質問はございませんか。 無いようですので、次に「議第4号 日野町立東桜谷公民館長の委嘱について」を議題とします。事務局から提案説明を願います。</p>
日永課長	<p>(提案説明)</p>
今宿教育長	<p>ただいまの提案説明について、ご質問ご意見はございますか。 無いようですので、「議第4号 日野町立東桜谷公民館長の委嘱について」は提案どおり承認することといたします。 次に、日程8の今後の予定について、学校教育課から順次説明を願います。</p>
野瀬参事 宇田課長 日永課長 高浪館長	<p>(提案説明)</p>
今宿教育長	<p>今後の予定についてご質問などございませんか。 ご質問等が無いようですので、次回の教育委員会および総合教育会議の日程調整に移ります。事務局から提案させます。</p> <p>次回日程調整</p>
今宿教育長	<p>それでは、今回は11月2日(木曜日)の午後1時30分から定例会を開催する予定とし、引き続き第2回総合教育会議の予定をお願い致します。 他に発言はありませんか 無いようですので、以上を持ちまして、定例会を終了します。</p>